

宣

言

皇紀二千五百九十五年所謂非常時の第一年を迎へ皇國國際聯盟
 脱退の効力發生期日たる三月二十七日を目前に控へて茲に我日
 本農民組合浮羽郡聯合會昭和十年春季大會を開催するに當り混
 沌として形勢急迫せし^動兩歐の國際狀勢と各國ブロック強化經濟
 戰の交錯の過中にある皇國の內政狀態を見る時我等は正に慷慨
 たらざるを待さるものあり

即ち多年其の害毒を正當なる社會進化の途上に流して之か發展
 を阻害し勤勞國民大衆を飢餓に苦るしむることに依而のみ一部
 財團の私腹を肥さんとする資本主義の惡流は未だに皇國の經濟
 界を支配して愈々横暴を極め一方之に追隨して徒らに黨利を計
 り黨略に耽り目に國家國民なく金權に待すること彌躬如爲めに
 國是を誤り國憲を紊り恬として恥ぢざる既成政黨黨の橫行は目

に餘るものあり然も此等の矛盾惡徳に對する五、一五事件以下
 の國民的抗議に脅へたる彼等が捏造せる以前非舉國一致内閣た
 る岡田官僚現内閣の施政たるや之徒らに左顧右盼只々局面の糊
 塗にのみ偷安し第六十六議會を通じて我等が希望の要求の一端
 を容したるが如しと雖も甚だしきものあり。此處に於て我等が
 運動の過去現在將來を通觀するに其の多年刻苦の努力は今や漸
 く政治的にも社會的にも認められ勤勞階級の生活解放と新日本
 建設の日は將に近づけり。

之の時に當り我等は今や其の緒につきし十年の素志の貫徹を期
 し皇國の内狀外勢に應じ乾坤一掃益々團結の力を固めて昭和維
 新斷行の最後の戰線に進進せんことを誓ふ

右 宣 言 了

昭和十年三月二十日